



発行 社団法人ふくしま被害者支援センター  
 〒960-8002 福島市森合町 14-6 第三トヨタビル 2F  
 事務局 TEL&FAX 024-533-7830

■平成21年度 第2回定期総会・生命のメッセージ展 in ふくしま 特集号

理事長挨拶

本日は、当センター総会のご案内を申し上げましたところ、ご多用の時期にもかかわらず、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

特に、顧問である福島県警察本部長 松本光弘様、福島県議会議長 佐藤憲保様をはじめ、顧問、参与の皆さまには大変ご多忙の中、ご出席を賜りましたことにつ



挨拶を述べる岩崎稔理事長

きまして、御礼申し上げますとともに、日頃のご指導に深く感謝申し上げます次第でございます。

平成21年度は、県警察との共催事業として進めて参りました「被害者に優しい『ふくしまの風』運動」におきまして、中学校、高校等30校を対象に「命の大切さを学ぶ授業」を行い、7,940名の生徒達に生命の大切さを訴え、また、約2,000名が参加して開催されました「支援の輪を広げるつどい」・「生命のメッセージ展」におきましても、「犯罪被害者」の実態について広報・啓発活動を行い、被害者等支援の重要性と必要性を訴えて参りました。

福島県公安委員会から指定を受けました「犯罪被害者等早期援助団体」としての活動は、2年目を迎え、いよいよ真価をとわれることとなりますので、当センターの活動に直接携わっている支援活動員が、その重みを理解することは勿論ですが、正会員の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導とご協力をいただきますようお願いいたします。また、現下の厳しい経済情勢の中で、活動資金の調達にいささか不安を感じておりましたが、県警察を始め多くの皆さまからご協力をいただき、補助金等を含め、97%台に到達することができました。皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。

本日の通常総会では、「役員を選任」をはじめ、「平成21年度の補正予算(案)」、「平成22年度の事業計画(案)及び収支予算(案)」のほか、「犯罪被害相談員の任用」など7件について議題としておりますので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。挨拶とします。

## 福島県警察本部長の来賓祝辞

警察本部長の松本でございます。社団法人ふくしま被害者支援センターの通常総会にあたり、一言、お祝いを申し上げます。

本日、ここに、「社団法人ふくしま被害者支援センター」の総会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、ご出席の皆様方には、平素より、警



来賓挨拶をされている松本光弘福島県警察本部長

察業務の各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに対し、本席をお借りいたしまして心より敬意と感謝を申し上げます。

当センターは平成19年7月に任意団体として設立され、同年12月に社団法人化し、その後、昨年3月10日には、福島県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体としての指定を受け、実質的な被害者支援を活発に進めていただいております。県民の当センターに対する期待は益々大きくなり、県警察といたしましても、今後の活動に大いに期待を寄せているところであります。

さて、県内における昨年の犯罪や交通事故の発生状況を見ますと、刑法犯認知件数は、昨年まで、7年連続で減少したところでありますが、殺人、放火、強制わいせつなどの重要犯罪については、僅かながら増加しているところであります。また、交通事故やひき逃げ事件についても、減少傾向にあるものの、年間1万1千人の方々死傷している現状にあります。そして、これら事件・事故の被害者や遺族の方々には、経済的、精神的支援を求めているのであります。このような情勢の中、昨年は、県警察とセンター共催のうえ、年間活動として、「被害者に優しい『ふくしまの風』運動」を展開し、延べ11万人の県民の方々に広報や呼びかけを行い、大きな成果を得たところであります。また、法に基づき、被害者支援に必要な事件関連情報を提供し、相互に連携しながら、早期に効果的な被害者支援活動を行って頂いたところであります。県警察といたしましては、被害者に対する支援の必要性、重要性等をご認識頂くための「被害者に優しい『ふくしまの風』運動」を昨年に引き続き、推進する一方、より実質的な支援を行って参ることとしておりますが、被害者等が求める支援をより効果的かつ、きめ細かく進めるため、ふくしま被害者支援センターと緊密な連携を図りますとともに、センターが行う各種事業活動に対し、全面的に支援を行って参る所存でありますので、今後とも皆様方のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、ふくしま被害者支援センターと、本日ご列席の皆様方の、今後益々のご活躍と、ご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉に代えさせていただきます。

# 平成21年度 第2回理事会、総会の開催結果について

去る3月10日(水)、本年度第2回目の理事会並びに総会が、福島市「杉妻会館」において開催されました。

理事会並びに総会では、

- 平成21年度収支補正予算(案)
  - 平成22年度事業計画及び収支予算(案)
  - 大規模支援特別会計予算(案)
  - 法人団体の代表者交代による、正会員の一部変更
  - 新たな犯罪被害相談員の任用報告
- 等の提案について、活発なご意見を頂き、出席者全員の拍手をもって、議案は採決されました。



総会で議事進行に当たる遠藤道雄議長(中央)

## 平成22年度 第2回通常総会議案の審議概要

**第1 平成22年度事業計画について** ~特に4つの事業について重点的に推進することになりました。~

**1 広報啓発活動の一環として、「市町村への巡回キャラバン及び出前講座」を実施します。**

地域密着型の活動として、市町村よりも小さな単位(40~50人程度でも可)への“出前講座”的な活動を推進していきます。

これは、

- ・当センターの存在と活動内容について、市町村・県民への浸透不足が懸念されていること
  - ・被害者を取り巻く支援活動環境を整えたいという願い
  - ・市・県民からの支援センターへの積極的な協力を確保したい
- との観点から実施していくこととしています。

**2 広報啓発活動としての、県警察との共催事業に積極的に取り組みます。**

- ・県内の中学校・高校での「命の大切さを学ぶ授業」・大学校における「命の大切さを考える授業」の開催
  - ・草の根的な出前型「被害者に優しい地域づくりミニ講座」の開催
- 等を推進することにより幅広い層に支援の輪を広げていきます。

**3 困惑し、苦しんでいる被害者等への直接的支援活動や自助グループ活動を充実していきます。**

**4 各種活動に必要な“真心”を養い、精神を高めるための研修活動に取り組んでいきます。**

**第2 平成22年度収支予算について**

一般会計予算案のほかに、「大規模支援特別会計予算」を新設することになりました。

平成20年度から「重大突発事件事故発生時の支援準備金積立」として、25,000千円を目標に、毎年500千円積み立てる計画でありましたが、混迷する社会情勢の中であって、大規模事件事故の発生は予見し難いばかりか、何時発生してもおかしくない現況であることを思えば、財政的に繰越金が比較的大きい現在、可能な限り積み上げて置くことの方が良策と考えました。そこで従来の積立金を廃止し、併せてこれまでの繰越金をも含め、「大規模支援特別会計」を設け、運用したいとの趣旨説明を行い、質疑応答を重ねたうえで、当センター専務理事から、センターは発足以来4年目、「犯罪被害者等早期援助団体」の指定からも2年目を迎え、内外共に“真価を問われる”年になるものとの決意が述べられ、事務局提案の議案が出席者全員の拍手をもって採決されました。

# 平成21年度中の相談支援活動状況について

## 1 相談支援の取扱い状況について

相談種別	相談事案内容			計(件)
	犯罪被害関係(件)	交通事故関係(件)	その他(件)	
電話相談	30	22	32	84
面接相談	6	9	3	18
直接的支援	16	14	0	30
計	52	45	35	132

相談事案内容別では、犯罪被害に関する相談が最も多く、次いで交通事故に関する相談となっています。

## 2 年代別電話相談・面接相談の状況について

20代 12.1% 30代 22.75% 40代 19.7% 50代 18.2% 60代 22.7% 70代 4.6%  
となっており、30代から60代まで、ほぼ平均的に相談が寄せられていました。

## 3 居住方部別の相談・面接相談状況について

県北方部 58.4% 県中南方部 24.7% 会津方部 5.2% いわき方部 10.4% 相双方部 1.3%  
となっており、中通り方部に多く、会津、浜通り方部の利用件数が少ないように思われました。

## 4 直接的支援について

これまでも継続して支援を行ってきました、交通事故のご遺族や犯罪被害者のほか、昨年3月10日に、犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けたことによる、警察からの支援要請を受けて支援を行ったもの2件、犯罪被害者等給付金申請補助事務扱い1件等がありました。また、上記以外にも警察との連携による支援活動が3件等合わせて、犯罪被害関係が16件、交通事故関係が14件で、合計30件の直接的支援活動を行っております。

### .....被害者支援活動員として思うこと.....

ふくしま被害者支援センターが設立されて4年目を迎える。  
昨年3月に犯罪被害者等早期援助団体の指定を受け、これからが電話相談・直接支援・自助グループ支援等、すべてにおいて真価が問われ、力量が試されていくだろう。  
被害に遭った本人やその家族は、事件や事故当時はもちろん、長期に渡って心が休まることなく苦しみ続けるという。私達たちは、被害者の方々がセンターに何を求め、どう対応してほしいのかを的確に受け止め、適切かつタイムリーに援助して行かなければならないと思う。  
しかしながら、設立して日が浅いセンターであることから、現実的には課題が山積みしていることは否めない。センターに関わる一人ひとりが積極的に研鑽を積み、できることから始め、力をつけ、協力し合って、被害者とその家族のニーズに応えていかなければならないと考える。 (被害者支援活動員 掃部 陽子)

## 自販機の設置場所を求めています！

置かせていただけたところがありましたら、是非当センターにご一報下さい。  
～さらなる賛同者の、ご協力をお待ちしております。～

### 被害者支援協賛自動販売機設置協力をお願い

東北ペプシコーラー販売株式会社・ダイドードリンク株式会社2社の企画により、ドリンク用自動販売機の売上金の一部を当センターにご寄附して頂くことになりました。自動販売機設置者のご理解とご協力を頂くこととなりますが、ご協力を頂ければ、当センターPR用のステッカー(センターの相談時間・電話番号等表示)を掲示させて頂くこととなります。現在まで県内で、5会社(新たに1社から協力依頼のお申し出があり、自販機会社と打合せ中)のご協力を頂き設置しております。

# 福島県内で「生命のメッセージ展」が初めて開催されました

平成21年11月22日(日)、23日(月)の両日、福島県文化センターに延べ約2,300名の来館者を迎え、「生命のメッセージinふくしま」を開催しました。理不尽にも犯罪・交通事故・いじめ等で命を奪われたメッセンジャー達と向き合い、ハンカチを口に噛みしめ、目頭を押さえながら、辛さを心に止めている家族、幼子のメッセンジャーの前でかみ込み、座り込んで、家族の思い、気持ちに想いを馳せ、「生かされている自分達」を知り、「家族の生命を大切にしていこう」との決意を新たにしている姿も見受けられました。



等身大のメッセンジャー達の前で

メッセンジャー達は、生命が暴力的に奪われることのない、生命をしっかり守ることの出来る社会の実現を夢見ているのです。新たな「命が生まれる」新たな「命を生きる」人型となって、「生命の重み」を伝えるメッセンジャーとして生きていることを訴えようとしております。



幼子のメッセンジャーの前で

開催 平成21年11月22日(日)～23日(月)  
場所 福島県文化センター  
主催 社団法人ふくしま被害者支援センター  
福島県警察

NPO法人いのちのミュージアム

後援 福島県・福島県教育委員会・福島県市長会・福島県町村会・福島県被害者等支援連絡協議会・福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞東京本社福島支局・産経新聞福島支局・河北新報社福島総局・日本経済新聞社福島支局・共同通信福島支局・時事通信社福島支局・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・ラジオ福島・福島放送・テレビユー福島・ふくしまFM・スポーツニッポン新聞福島支局・内閣府



## 『生命のメッセージ展inふくしま』来場者の感想文

- 私の友人も、最愛の娘を通学中の事故で亡くしています。命の大切さ、尊さをもっともっと多くの方々に理解し、心の中に留めて頂きたいためにも、必要な活動であると思います。
- 胸が痛くなりました。でも亡くなられた皆様が、生きて来られたということ、見ず知らずの自分が確認する事しか出来ない、でも忘れちゃいけないと思いました。たった一つの命の重さは、どの人にとっても平等で掛け替えのないものだから。生まれてきた命を忘れず、生きたくても死んでしまった皆様の気持ちを忘れず、犯罪被害者が一人でも少なくなっていくように、自分で出来る事をしていきたいと思います。有難う御座いました。
- ご家族や身近な方々の悲しみ、そしてご本人の無念さがどのパネルからも伝わってきて、胸が詰まりました。新聞やニュースで目にする事故や事件は、当事者達にとって、ずっと続く苦しみであり、うわべだけで判断していた自分が恥ずかしくなりました。このような展示を教育にも活かしてほしいと思います。いつか被害者の方々の心が安らかに救われますように願っています。

# ～皆様方のご支援に支えられて～

## 今期間賛助会員等のご紹介(平成21年10月16日～平成22年3月31日)

次の方々から、賛助会員としての会費及びご寄付をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。  
重ねて御礼を申し上げますと共に、今年度もご協力をお願いいたします。(匿名希望の方は掲載を省略させていただきました。)(敬称略)

### 福島県

赤羽 康男	阿部 昭英	安部 明	安齋 浩明	飯塚 康治	五十嵐清紀	今泉 満臣
上野 仁	内山 保	大木 早苗	大河内秀崇	大塚 利行	奥田 正彦	金子 哲也
鎌田 一浩	鎌田 朋広	川上 晴美	川島 武	菅野 直之	菅野 紀之	川口 洋司
川口 容子	菊池 忠	菊地 淑郎	木村 進	木村 好弘	清川 俊彦	倉野 浩司
栗田 保彦	黒江 昌宏	黒江 弓子	合津 長治	小山 貴子	近藤 政信	近内美恵子
今野 真宏	齋藤 和子	齋藤 登	坂井 健	坂本 延久	佐藤 光司	佐藤 廣三
佐藤 雅彦	佐藤 政行	佐藤 祐司	佐藤 裕治	清水 勝夫	清水 稔和	白岩 隆文
白鳥由紀子	鈴木 慎一	鈴木 利雄	鈴木 俊雄	関根 隆	関根 範子	先崎 雅郎
高木 秀政	高野 栄子	高橋 和七	竹中 淳一	田中あけみ	玉田 雅之	土田 一夫
戸浪 誠	鳥羽 仁	生田目 剛	生田目秀稔	新田 宏明	野地 章	芳賀 績
芳賀 昌則	芳賀 洋子	長谷川栄治	長谷川辰仁	半澤 壽英	蛭田 孝治	本名 美和
増子 一公	松本 光弘	三浦 吉則	向井 真治	武藤志津夫	持地 孝夫	森 洋
安田 宏	山田 憲	山田 学	渡邊 孝一	渡部 祐治	青田 勝則	青田 惇
伊藤 俊朗	伊藤 博子	上野 勝義	笠間 宏	鎌田 正志	菅野 啓子	菅野 年幸
菊田 英俊	菊地 俊洋	近藤 英明	佐久間 大	佐久間正和	佐藤 義秀	島 丈博
鈴木 邦夫	関根 哲也	田崎 行州	坪井 強	長岡 文雄	西牧 和徳	橋本 榮一
橋矢田浩一	畠 信七	深堀 雅寛	船生 綾香	牧野 徳夫	水谷 浩美	緑川 佳樹
武藤 裕紀	横山 秀男	渡部 賢治	渡辺 久義			

## 『生命のメッセージ展inふくしま』 来場者の感想文

- 命の重さを感じました。心がズーンと痛くなり被害者の方々の無念さが心に響いてきました。メッセージや写真、靴を見て“生きていた”証を感じました。交通事故の無い世界、犯罪の無い世の中になることを祈っております。貴重な体験をさせていただきました。夜、ドキュメンタリー番組で見たので、是非と思っていました。朝、新聞を見て、足を運んでみました。ご家族の方々へ、心の中の大切な方をいつまでも大切に、そして一生懸命に生きて下さい。有難うございました。
- 以前テレビのニュースで見て、今回地元でこういう機会に来ることが出来て良かったです。他人事ではない、いつ自分に置き換えても・・・胸が締め付けられる思いは同じです。訴えられず、心の奥にしまって我慢しては伝わりません。こういう展示は広く全国に伝わるといいと思います。
- 生命の大切さを改めて感じました。残された家族の想い、亡くなられた方の無念さ、メッセージを読んでも、とてもそれらが伝わってきて、今まではあまり感じない「生命」の大切さ、重さを感じました。感じたものは、たくさんあるのに、文章化するのは難しく、こんなことしか書けませんが、私自身「生命」を大切にしよう、周囲の人に優しくしよう等と思いました。私ができることは、本当に限りがあるかもしれませんが、できることから始めたいと思いました。来て良かったです。
- 事故死の悲しい場面を多くのぞき、私も悲しくなりました。でも愛の手があれば本人とその周囲は少し救われることでしょうか。皆で交通事故防止に協力する必要性を感じました。関係者、ご苦労さまです。
- 理不尽に命を奪われてしまった方々たちの無念さ・・・残された方々の想いを思うと、ただ涙するしかありませんでした。この世で私達1人1人が、全てのものの命が、掛け替えのないものであるという“思いやり”を持って行動すること・・・うまく表現できませんが、私自身は思いやりを忘れずに、生きて人の役に立とうと思いました。
- 今回初めて、生命のメッセージ展を見に来ました。被害者の方々、その家族の思いに直接触れたようで身に染みるようでした。私と同世代の方もいたので、自分が加害者にならないことはもちろんですが、被害者にもなりかねないということを改めて気付かされました。また、機会がありましたら足を運んでみようと思います。



**伊達方部**

井上 誠一	尾形貴己雄	柏尾 慶文	佐藤 昌知	芹川 満明	堀江 廣行	渡辺 亨
安達 祐介	市川 隆廣	岩見 薫	金澤 幸生	亀田 治男	菅野 徹也	菅野 豊
慶野 克也	小賀坂幸男	後藤 秀一	後藤 清一	今野 秀行	斉藤 恒一	佐々木 敏
佐藤 佐重	宍戸 克彦	杉 知紀	鈴木 孝仁	鈴木 智史	鈴木 弘喜	竹森 俊敬
富樫 恒幸	緑川 悦夫	山口 寛志				

**二本松方部**

菅野 将尚	菊田 邦夫	小針 準一	佐久間 稔	野地 達夫	野地 誠	藤原 都子
古川 茂	松本 圭人	松本 文子				

**郡山方部**

五十嵐 聡	石本 恵	歌川 由紀	荻宿 章	久保田勇夫	國分 廣幸	佐藤 義男
鈴木 順一	鈴木 裕子	高木 春雄	高橋 芳久	滝沢 洋一	武田 憲二	千葉 昇
二宮千代一	松本 浩三	渡辺 幸樹	渡邊 典子	渡邊 宏	渡辺 良夫	

**本宮方部**

大須賀 靖	大塚 幸雄	岡崎 昭三	菊地 靖彦	原 哲哉
-------	-------	-------	-------	------

**須賀川方部**

味原 則雄	東 智	阿倍 良	安齋 貴裕	今泉 幸寿	大和田正美	岡田 将幸
小椋 正春	小野 幸一	上遠野 博	鎌田 本昭	鴨 芳則	河治 武	菅野 涉
菊地 健	木澤 巧	黒津 和弘	熊谷 佳則	国分 宏子	斎藤 久雄	佐藤 輝夫
塩谷 吉英	柴田 弘貴	鈴木 英将	鈴木 貢	鈴木 康之	清野 裕美	高松 啓
田口 満	田子 淳一	丹内 健	鉄地川原誠	野矢 守利	早川 圭亮	深津 進
藤間 聖一	古川 伸一	本多 弘幸	本間 利伯	湊 宏次	宮田 直也	武藤 研
宗像 一美	村越 定	村越 剛志	山田 藤信	湯田 裕一	吉田真一郎	渡辺 大輔
渡辺 等	渡邊 充廣					

- 生命のメッセージ展には初めて来ました。福島では初めての開催ということで、今日来られて良かったと思いました。私は福島学院大学の学生で、ボランティアとして参加させていただきました。ボランティア中、被害者の方々のパネルをじっくりと見る事ができました。一人ひとりのかけがえのない家族への思いが重く、心が苦しくなりました。ふくしま被害者支援センターの活動が広がり、犯罪を防ぐことへの意識が強まれば良いと思いました。特に飲酒運転、スピード違反等は軽く考えがちだと思うので、「加害者に誰もがなりうるのだ」ということが大切だと思いました。犯罪は自分とは関係ないものだと思われています。私はそうではないことが今日分かりました。1人でも多くの人にパネルを見て、被害者支援センターの事を考えてほしいと思いました。
- 交通事故は絶対に許さない。これから一杯やりたい事、夢もあつたらうに。生命のメッセージ展を見て、今まで以上に交通事故が若者の命を奪っているのか。とても切ない思いで、一人ひとりのメッセージを読ませていただきました。私の息子も社会人になって半年を過ぎたころ、東名高速でトラックとぶつかりました。車を見た限りでは即死でもおかしくない状態でしたが、奇跡的に助かり、大した怪我もありませんでした。亡くなった人達の方まで、生命を大切に、大事に生きていてもらいたいです。(何か月前に、バイク事故により大学3年生で亡くなった友の為に)。
- 命の尊さを改めて感じさせられました。私も9歳の時、母の死に遭いました。50年前の事です。当時は大家族だったので、途方に暮れることはありませんでしたが、母のいない日々は、中学生になる頃まで続きました。今日の生命のメッセージ展、多いのは交通事故、私も運転手の1人です。運転の時は常に真剣勝負と思っています。気の抜ける時も有りますが心の隙間を作らないようにしています。自分自身の命を大切にとの思い、心を育てれば、他人の命も大切に出来るはずで。交通、飲酒マナー等、現在一般的に欠けています。誠心教育をしなければ益々おかしくなっていくと思います。活動の皆様のご苦勞が報われることをお祈り致します。お互い頑張りましょう。
- 私も5月に交通事故に遭いました。バイクで停止したところに、脇見運転のトラックに追突され、十数メートル飛ばされて、背骨を折りました。一歩間違えれば、私もこの生命のメッセージ展の当事者でした。生命の大切さを改めて実感しました。みんな望んで亡くなった訳じゃない。それが悔しいです。
- 交通事故の場合は自分も被害者や加害者になる可能性がある。事故や事件の無い平和な世の中になればと思います。被害者支援スタッフの皆様、本当にご苦勞様です。有難うございました。



## 白河方部

相川 敬	相澤 良多	阿倍 遼	安齊かおり	飯沼由美子	石川 昭司	石田文市郎
石原 浩司	伊藤健太郎	伊藤 幸子	伊藤 正一	伊藤 雅彦	伊藤 正浩	植木 勝
大内 俊介	小椋 信吾	小椋 智	小沼 治修	折笠 順	片平 隆	川口 鶴孝
菅野 純行	木村 信也	熊谷与志雄	小池 英行	小松 道男	紺野 昌利	齋藤由紀子
斉藤 力男	佐藤 光	三部 正和	三瓶 裕	澁川 高明	渋谷 猛	澁谷 雄大
四本松 豊	十文字幸二	菅原 正晴	杉山 厚	鈴木 清史	鈴木 悟	鈴木 雅博
関根 弘勝	瀬戸 正樹	添田 好勝	高島 和浩	丹治 光夫	土田 広之	富田 麻衣
中野目克己	新井田 剛	二瓶 寛之	橋本 哲雄	波田野正美	服部 惟志	半澤 弘幸
深谷 家康	古市 学	星野 健一	真船 眞也	緑川 桂	皆川 武巳	舞木 武夫
箭内 良二	矢吹 学	藪内 伸也	八巻 敬三	山下 和之	吉田 剛	吉成 浩
淀川 定幸	渡邊 健司	渡辺 秀作	渡邊 達雄	渡部 昌男	渡部 祐	渡部 佳樹

## 石川方部

## 東白川方部

味戸 敏子	寺島 正	西牧 純子	増子 智彰	梅宮 光雄
-------	------	-------	-------	-------

## 田村方部

安齊 哲男	市川 幸正	伊藤 孝行	遠藤 弘文	小野口拓夫	今野 重則	齋藤 房芳
佐藤 淳	高住 成一	寺田 秀雄	松澤 隆浩	山内 統		

## 会津若松方部

會澤 頼子	赤塚 智	吾妻 道夫	荒 佳代子	五十嵐鉄男	石井 弘敬	石山 良人
井上由希絵	大越 将典	太田 孝	小澤 隆	小田切次雄	小山田正和	加藤 勇一
木本 允也	草野 傳武	久保田義浩	小坂 周一	小柴 弘一	後藤 重徳	小林 敏夫
近藤 孝夫	坂本 康幸	佐久間達也	佐久間義人	佐藤 桂史	佐藤 栄	佐藤 孝則
佐藤 剛	佐藤 俊之	佐藤 靖高	佐藤 由彬	白石田俊幸	鈴木 桂子	鈴木 茂
鈴木美紀夫	高木 克益	高木龍一郎	高野 秀一	高橋 昭雄	武田 弘二	田部 博文
土屋 貴大	中井 文子	中島 好路	西間木智章	芳賀 雅彦	長谷川保子	花見 利之
原川 昌一	日出山高裕	平田 和世	古川 泰章	松本 智明	緑川 涉	宮森 泰介
武藤 孝雄	目黒 誠司	森 友美	矢吹 晴彦	山田 秀一	吉田 浩幸	

## 『生命のメッセージ展inふくしま』 来場者の感想文

- 残された人の悲しみは永久に薄れることはない。薄れることがないからこそ行動を起こすのだろう。それが次の悲しい遺族を作らない最善の方法だから。
- 胸の奥、心の奥が熱くて苦しいです。交通事故・傷害による事件が多い事に驚きました。残された家族の方を考えると心が痛みます。
- 11月19日、鈴木共子さんの話を郡山で聞きました。生命のメッセージ展が多くの人に知れ渡っていく事を祈願しております。
- 飲酒運転での事故がこんなにたくさん起きていたとは思いませんでした。お子さんを亡くされた親御さんの気持ち、涙が止まりませんでした。自分自身もいつ被害者になるか、そして加害者になるか分かりません。とても怖く感じました。被害者のご家族には、なんと声をかけて良いか分かりませんが、一分一秒でも長生きして頂き、少しでも思い出して頂けるよう願います。お体を大切にしてください。
- 日常生活ではニュースを見て「こんな事があったんだあ」としか思っていませんでしたが、こうして一人ひとりの事件や家族の想いを目にし、これから自分が生きていく上で考えさせられ、又、責任ある行動をします。
- 自分にも小さい子供が2人いるのでお子さんを亡くされたご両親の悲しみは計り知れないものだと思います。子供達が、毎日元気に「行ってきます」と学校へ行き、「ただいま」と言って帰って来るのが当たり前の日々。でも自分の子供が事件や事故に巻き込まれたら・・・そんなことを考えると、とても恐ろしいです。この世に中から、事件や事故等が無くなる事を願っています。
- パネルで紹介されている事故・事件に遭われた被害者の「悲しみ」と共に命の大切さを痛感しました。免許を取得した原点に戻り、責任を持って交通マナーを守りたいと思います。
- 被害者支援センターには、開設当初から深い関心を持ち、「生命のメッセージ展」を楽しみにしておりました。内容的にも全国の被害者の訴え等、本当に理解できました。今回のメッセージ展を機に事故皆無に結びつくよう願っております。



<b>耶麻方部</b>												
安藤 誠介	安倍 智良	石井 秀範	薄 光市	遠藤 敏久	長田 明宏	小俣 真澄	上遠野 章	河原田政幸	菊地 亨	栗田 和洋	國分 英樹	木幡 健三
紺野 龍一	齊藤 博	佐藤 崇	佐藤 朋憲	管井 英宏	鈴木 泰	箱崎半五郎	早坂 孝志	樋口 浩美	藤田 紀夫	藤森 明澄	眞塩 秀人	増子 浩
物江 京子	山口 俊幸	我妻 武義	藤森 渡部	本多 文彦								
<b>喜多方方部</b>												
遠藤 浩二	古関 隆一	佐々木義雄	佐藤 元浩	鳴原 一史	鈴木 貴雄	内藤 恒久	新田 晃佑	廣瀬 広	本多 一郎			
<b>両沼方部</b>						<b>南会津方部</b>						
浅野 雅志	佐藤真由美	安藤 信之	佐治 仁一	山田 勇一	加茂下裕之	佐藤 昌史						
<b>いわき方部</b>												
池田 剛	砂金 明	遠藤 賢二	大森 光雄	大和田 孝	小野 開司	折笠 寛	國分 智博	小松 好明	近藤 良廣	齋藤 光伍	坂下 浩一	佐治 誠
関 大容	染谷 京子	高杉 進	高橋 豊	丹治加奈子	中島 松雄	永山 広之	野地 勉	野地 信裕	橋本 善行	服部 祐一	本田 良宏	門馬 英光
横山 和生	吉田 英明					矢野 慎						
<b>南相馬方部</b>												
大木 健一	大藤 宏信	岡部 丈司	恩田 武人	金成 匡以	熊谷 和博	小賀坂桂子	小幡 寿夫	小針 豪	紺野 寿男	坂詰 佳宣	佐藤 和行	佐藤 正
須賀 聖人	鈴木 源	鈴木 紀徳	鈴木 裕輔	関根 聖実	田中 宏明	中島 久明	樋口 次男	藤田 謙治	南館 浩	吉田 浩道	渡辺 勝浩	渡部 孝之
<b>双葉方部</b>						<b>相馬方部</b>						
石井 義昭	加藤 宏光	菊田 隆	齋藤 圭一	白岩 峯司	村上 幸好	山下登美枝						



- 「生命」 生きていることをあたり前に思わない事。亡くなった方は、自分から死を望んだ訳ではない。家族の方々の心の痛みは一生消えない。だけど、どうしてあげる事も出来ない。だから、少しでも亡くなった方々の気持ちを心で受け止めてあげたいと思う。
- 家族の方の手紙に涙が止まりません。亡くなった方々は皆さん心の熱い方ばかり。天国で幸せに暮らして下さい。
- 天の風になった方達には永遠のご冥福をお祈りします。そうならない前にこの様な運動をもっとPR出来ないものではないでしょうか。例えば、自動車免許を取る人達の教習の1単位に加えるとか。これからも若い人達が自動車免許を取ることはずっと 続くと思いますので。
- 皆さんのお気持ちが痛い程、伝わってきてとても大切な時間を頂きました。有難うございました。私も小さい力ながら、毎日の生活で、気を引き締めてハンドルを握りたいと強く思います。命の繋がりも大切にしていきたいです。皆さんのメッセージを胸に留めて、生きて行きたいです。
- 素晴らしいメッセージばかりでした。私も半年間に二人の身内が亡くなり、未だに心は正常ではありません。生とは死とは、問いかげの日々です。去年、歌手のスーザンオズボーンより「大丈夫」という言葉をいただき、これを 心として生きています。でも、心は今にも崩れそうです。
- 正直、驚きました。こんなにも、突然、生命が亡くなるなんて考えた事もないし、こんなにも、突然、家族を亡くすなんて考えた事もなかったので・・
- 友人のメッセージ展を見に来ましたが、これほど多くの方々が参加しているとは知らず驚きました。さまざまの人の辛い体験を知ることができました。
- 交通事故で若い命を亡くすことは悲しい事。予想もしない死に方で、本人は本当に悔しかったと思います。みんな、りっぱな若者だった。加害者はふざけた生き方をしている。気をつけた生き方しないと危ないと思った。
- 被害者の苦しみ、悲しみは、本人にしか分からないものだと思います。しかし、周囲の苦しみ・悲しみをありのままに受け止めたいという温かい気持ちが被害者の支えになるのだと考えています。福島に支援センターが誕生し、その活動の輪が少しずつ広がっていることをとても心強く思います。これからも幅広い活動が続いていくことを願っています。
- 子供を持つ親として、毎日のように車を運転するドライバーとして、色々なことを考えさせられました。いつ自分や家族が被害者、加害者になるかわからない交通事故。今まで以上に気を付けて運転しようと思います。

正会員 個人関係者													
福島方面					郡山方面								
安斎 勇雄	生島 浩	藤原 正子	伊藤 正行										
ご寄付 個人関係者													
福島方面													
安宅賢一郎	阿部 洋士	安部 弘	在原 早苗	安部 健一	五十嵐広敏	伊藤 宏捷	宇田川福代	大越百合子	菅野 廣道	菊田いづみ	国井 聡	黒田 亨範	小松 聖英
齋藤 吏	齋藤 崇宏	齋藤 達也	坂下 茂	佐藤 裕之	佐藤美智子	佐藤 光也	澤田 義昭	仙波 俊通	添田 勝寿	高木 伸人	高野 弘一	高橋 学	高宮 優
武田 健吉	谷 俊之	田村 徹	野口 博行	橋本久美子	橋本志保子	花澤 弘行	波入 好則	林 文之	本田 邦幹	松田 英子	宮野 泰行	室井 裕子	森合 剛一
八島 秀明	結城 学												
伊達方面					須賀川方面								
佐藤 喜一	友近 恒男	白幡 初子	伊藤 誠一	小平 裕隆	小松 義夫	杉山 英男							
田村方面													
菅野 友晴	本田 絹子	郡司 裕子	柴 重雄	太 清孝									
会津若松方面													
赤坂 猛清	安部 崇	遠藤 恒友	小椋 好恵	小野 和博	加藤 大	菅家 好範	菅野 尚志	菅野 峰夫	小泉 貴紀	小針 拓史	佐藤 優	鈴木 史也	清野 雅彦
関根 真一	高倉大丈夫	館 佳代子	伊達 久倫	津田 彰彦	富田 翔子	二階堂正樹	蛭川 初美	星 久	増子 大輔	本吉恒一郎	山際 吉宗	吉田 正巳	渡辺 光男
渡部雄太郎													
耶麻方面			喜多方方面			両沼方面							
馬場 清吾	加藤 英樹	本田 貴彦	上田 精一	柿本 文隆	小磯 浩史	星 武							
いわき方面										南相馬方面			
安藤 慎治	相良 昌平	根本 太	松井 利弘	宗像 豊	波多野敏晴	渡邊 智行							
双葉方面													
太田 利弘													
企業・団体関係 賛助会員													
福島方面													
富士印刷(有)		文化設備工業(株)		(株)第一印刷									
(社)福島県タクシー協会		(社)福島県トラック協会											
伊達方面													
フクシマフーズ(株)		(株)アスカ福島工場		(有)井上建材									
齋藤電建工業(株)		川俣地区防犯協会連合会		安全運転管理川俣地区事業主会									
川俣地区安全運転管理者協会		川俣地区警察職員父兄会会長		川俣地区交通安全協会									
達南地区暴力団排除推進連絡会													
二本松方面													
あだたら商工会		(有)昭和自動車整備工場		丸三木材(株)									
(株)アスク		(株)本多建設		(株)マルコ物流									
(株)丸や運送		昭和タクシー(株)		にいどの運送(有)									
二本松地区警察官友の会		福島交通(株)二本松営業所											
郡山方面													
(株)栄楽館ホテル華の湯		(株)二嘉組		郡山食品工業団地協同組合									
福島県警察高速道路交通警察隊郡山分駐隊		大東銀行(総務部)											
本宮方面					須賀川方面								
福島エーアンドエープロイラー(株)		福島空港運輸(株)											
白河方面													
(株)高砂ホンダモーター		白河建設工業協同組合		(株)ヤマシロ									
東白川方面													
東白商事(株)		八溝マテリアル(株)		NSK福島(株)									
ジェイアールバス関東(株)		八溝運輸商事株式会社		福島県厚生農業協同組合連合会埴厚生病院									

<b>田村方部</b>		
(有)増子商店 三春地区金融機関防犯協会	(株)鈴船建設	(株)清水商店
<b>会津若松方部</b>		
三菱伸銅(株)若松製作所 会津天寶醸造(株) 医療法人晶晴会 (株)野尻金属 なるせとみこレディスクリニック	光塗装(株) 会津パッケージ(株) 医療法人明精会会津西病院 福島県警察高速道路交通警察隊会津分駐隊	会津オリンパス(株) 秋山ユアビス建設(株) 扇町渡部小児科渡部雅勝 (社)会津若松医師会
<b>耶麻方部</b>		
(有)クリーンセンター遠藤	(有)阿部重郎商店	安部建設(株)
<b>喜多方方部</b>		
会津いいで農協	喜多方地区金融防犯協会	
<b>両沼方部</b>		
東北ヤマキ電気(株) 会津みどり農業協同組合本店 高田厚生病院	会津坂下地区企業安全連絡会 柳津測量設計(株)	会津坂下町工業振興協議会 会津美里町警察官友の会
<b>南会津方部</b>		
(有)只見荘	(有)二瓶建材店	
<b>いわき方部</b>		
福浜大一建設(株) (株)大橋 (株)マルト商事 福島県警察高速道路交通警察隊いわき分駐隊 常磐興産(株)	いわき開成病院 (株)大海商事ハイパーつばめ好間 (株)三崎組 堺化学工業(株)小名浜事業所 平中央自動車学校	小名浜製錬(株)小名浜精錬所 (株)福陽自動車教習所 (株)みよ乃社 社会福祉法人ハートフルなこそ 日本製紙(株)勿来工場
<b>南相馬方部</b>		
原町港湾運送(株) 伊藤冷機工業(株) 佐藤建設株式会社	(有)桜井自動車商会 (株)福建コンサルタント 日本デルモンテ(株)福島工場	葵産業(株)浜通り支店 後藤建設工業(株)
<b>双葉方部</b>		
横山建設(株) (株)東京エネシス 富岡地区警察官友の会	日立GEニュークリア・エナジー(株)福島総括事務所 (株)東芝福島第一原子力作業所	(株)大海商事つばめホール広野店 東電工業(株)福島第一原子力事業所
<b>相馬方部</b>		<b>県外</b>
(株)福島県東部自動車教習所	(有)高塚自動車	東日本旅客鉄道(株)総務部
<b>正会員 企業・団体関係</b>		
<b>福島方部</b>		
(株)福島銀行 (社)福島県警友会 福島県精神科病院協会 福島民友新聞社	(財)福島県自動車会議所 (社)福島県歯科医師会 福島県中小企業団体中央会 J A 福島中央会	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県商工会議所連合会 福島県弁護士会
<b>郡山方部</b>		<b>会津若松方部</b>
(株)大東銀行	福島県精神保健福祉士会	国際ロータリークラブ第2530地区
<b>ご寄付 団体関係者</b>		
<b>福島方部</b>		
警察本部県民サービス課	福島信用金庫弥生会ゴルフ部	(有)古佐藤屋
<b>白河方部</b>		<b>東白川方部</b>
白河高原ライオンズクラブ	棚倉警察署親睦会	
<b>田村方部</b>		
みどり商事(株)	(株)エスポアール	小野地区被害者支援ネットワーク
<b>双葉方部</b>		
(株)関電工原子力部福島第二事業所 (株)倉伸	東電環境エンジニアリング(株) (株)アトックス福島第二事業所	ウツエバルブサービス(株) 富岡警察署署長宮川道夫他有志一同

# 愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

いつもどおりに、普通に生活している人が、  
ある日突然被害者になる！

その瞬間から、それまでとは全く違う日々が始まってしまう。

## ニュースの陰にはいつも被害者がいます

もし、あなたが大切な家族を失ったとき…

身体にケガをさせられたとき…

心に傷を負わされたとき…

どうしたらいいか分からなくなったとき…

**お電話下さい。**

### (社)ふくしま被害者支援センターでは…

- 被害者支援活動員による継続的な電話・面接相談を行います。
- 被害者の要請に応じて、病院、裁判所、警察への付き添い等の多様なサービスを行います。
- 犯罪被害者等給付金の申請について、アドバイスを行います。
- 弁護士会などの関係機関・団体等と連携を密にした被害者支援活動を行います。
- 被害者支援のキャンペーンやチラシ・リーフレットの配布等、幅広い広報・啓発活動を行います。
- 同様の体験をした被害者に交流場所を提供していきます。

### (社)ふくしま被害者 支援センターの活動

#### 相談・支援受付時間

月曜日～金曜日(午前10時～午後4時)  
祝祭日、年末年始を除きます。

※面接相談・直接的支援は要予約

**相談は無料です。秘密は厳守します。**

**相談電話 024-533-9600**

### 賛助会員募集中

本センターの活動は、皆様からの会費により運営されています。

#### 年会費

- 個人 1口 2,000円より
- 法人・団体 1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」  
(社)ふくしま被害者支援センター

〒960-8002 福島市森合町14-6 第二トヨタビル2F  
(福島中央郵便局向かい) 事務局TEL 024-533-7830  
ホームページアドレス <http://www.vsc-fukushima.net>

※なお、「ご寄付」については、金額は問いません。

### ◆編集後記◆

本号は、『通常総会』と、昨年秋、県文化センターで開催しました『生命のメッセージ展 in ふくしま』の開催状況の特集号とし、新年度の事業方針やメッセージ展来観者から頂いた感想文(一部)を紹介させていただきました。

会員の皆様方には、犯罪や事故の被害者等に対する支援の必要性和重要性について再度ご理解を深めていただきますとともに、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。